

～言語感覚を育む たのしい教材～ ひらがなマッチングゲーム

なんとなくわかる授業研究所 坪郷正徳 (nanto79@icloud.com)

このゲームの考案者は、福岡県の杉本陽子先生です。坪郷がアレンジを加えました。

マッチングゲームの基本ルール

① カードをよくまぜて、テーブルの上に、裏向きに、山のままおく

② じゃんけんをする。一番勝った人から時計回りでカードをひく

③ 自分の引いたカードとマッチするカードがあればもらえる。

マッチするカードがない時は、机においておく。

④ カードを引いたときの合言葉

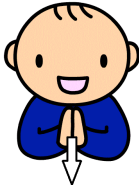
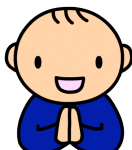
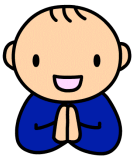
あると思った時 カードをとって「どうですか？」と聞く

→みんなで「OK!」→「せ～の!」で手をたたく（下図）

ないと思った時 「パス」 →次の人の番に

※必ず、カードを引いた人が「どうですか？」か「パス」を宣言する。答えを教えようとする周囲の子は止める必要がある、自分絵で1枚選ぶのが大切

※間違えていた場合「あるよ」「ちがうよ」と優しく教える

つまる音 小さい「つ」のところで 「ぐー」	のばすおと のばすところは手を合わせ たまま下へ	ねじれる音 右手と左手をねじってあわ せる
ら 	す 	し 
っ 	う 	ょ 
ぱ 	じ 	く 
		じ 

※詳しい指導法はブログをみてください なんとなくわかる授業研究所<https://nanto79.exblog.jp>